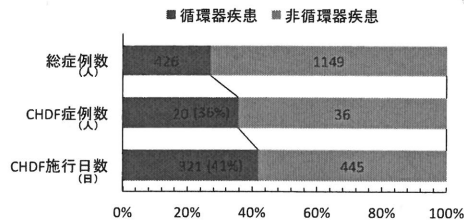
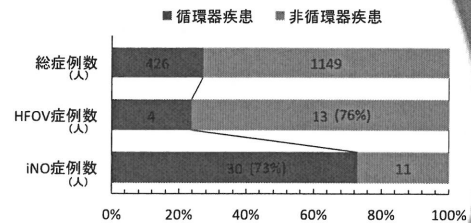


結果: CHDF管理における循環器疾患の割合



「循環器疾患」数は全体の27%だが、CHDF症例数36%、CHDF施行日数41%と、症例数割合以上の比率を占めている

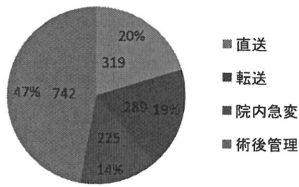
結果: HFOV・iNO管理における循環器疾患の割合



「循環器疾患」数は全体の27%だが、iNO症例数は73%と大部分を占め、逆にHFOV症例数は「非循環器疾患」が大部分を占めている

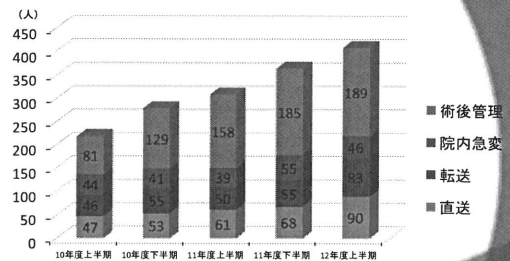
結果: 入室経路別の症例の割合

入室総数1575症例



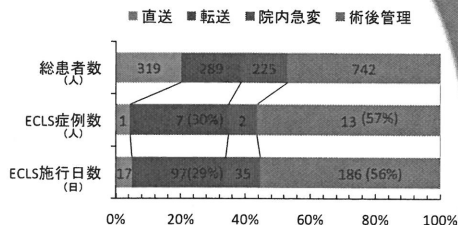
「術後管理」47%、救命救急事案の「直送・転送」の割合は39%で、「院内急変」を含めた緊急の入室数は半数以上を占めている

結果: 入室症例の半期別推移



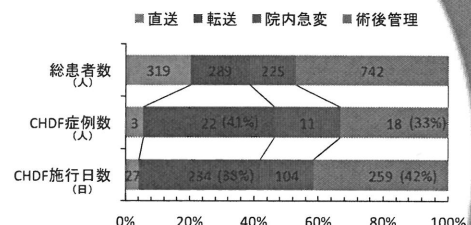
「術後管理」は安定的に約半数を占めているが、「直送・転送」の増加傾向と「院内急変」の減少傾向がある

結果: ECLS管理における入室経路別の割合



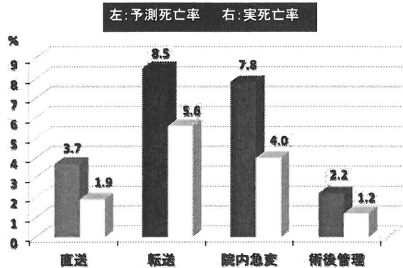
ECLS症例数は「術後管理」57% 「転送」30%  
ECLS施行日数は「術後管理」56% 「転送」29%

結果: CHDF管理における入室経路別の割合



CHDF症例数は「術後管理」33% 「転送」41%  
CHDF施行日数は「術後管理」42% 「転送」38%

結果:入室経路別の予測死亡率と実死亡率



救命救急事案である「直送・転送」のみならず、「院内急変」とともに「術後管理」の実死亡率の低下がみられる

現在要求されているPICU体制は？

- **Multidisciplinary**  
Brilli RJ, et al. Critical care delivery in the intensive care unit: defining clinical roles and the best practice model. American College of Critical Care Medicine task force on models of critical care delivery. Crit Care Med 2001;29:2007-19.
- **Closed ICU**  
Chittawatanarat K et al: The impact of closed ICU model on mortality in general surgical intensive care unit. J Med Assoc Thai. 2009 Dec;92(12):1627-34.
- **入室症例数が中から大規模のユニット規模体制**  
J.P.Marcin et al: The impact of pediatric intensive care unit volume on mortality. Pediatr Crit Care Med 2005; 6:136-141
- **小児重症患者の集約化体制**  
武井健西ら 小児重症患者の救命には小児集中治療施設への患者集約が必要である. 日救急医学会誌 2008; 19: 201-7

当院PICU体制に対する考察

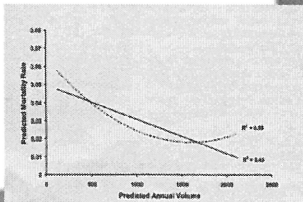
- **診療体制**
  - ◆ Multidisciplinaryな診療体制の一側面と考えている、Hybrid PICU運営によって循環器疾患症例を応需している
  - ✓ 循環器疾患症例は、循環管理における高度な管理が必要であり、同時に特殊治療の症例数や施行日数の割合が高い
  - ↓
  - ✓ 循環器疾患症例に関連する多くの経験と技術がユニット全体の診療能力向上に寄与し、結果として非循環器疾患症例に対しても応用できている可能性がある

当院PICU体制に対する考察

- **管理体制**
  - ◆ Closed PICUによる管理体制の一側面と考えている、術後重症患者を応需している
  - ✓ 術後重症患者は、安定的かつ計画的に入室し、同時に特殊治療の症例数や施行日数の割合が高い
  - ↓
  - ✓ 予定された術後重症患者は、ユニット全体の診療能力向上に寄与するのみならず、PICU特殊治療における教育的な側面でも有用と考える

当院PICU体制に対する考察

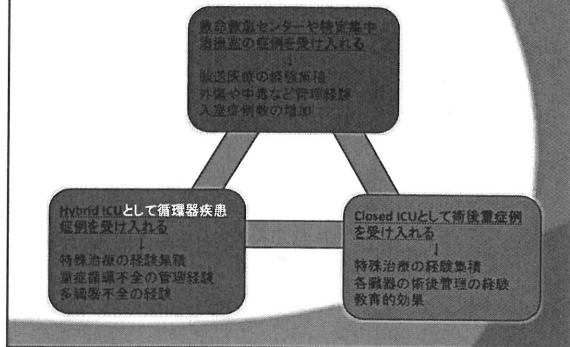
- **ユニット規模体制**
  - ◆ 当院PICUの入室症例数の増加傾向はあるものの、年間800症例前後の規模となっている
  - ✓ 年間992-1491症例の中～大規模のユニットは、予後が良好
  - ↓
  - ✓ 規模をさらに拡大させるためには転送症例による入室増加が現実的か？



当院PICU体制に対する考察

- **集約化体制**
  - ◆ 救命救急事案である転送症例の増加傾向がある
  - ✓ 当院の転送症例XX例のうち、救命救急センターからの転送XX例、特定集中治療室からの転送XX例、加算後転送XX例
  - ↓
  - ✓ 転送症例をさらに広域化し、さらには救命救急センター・特定集中治療室との連携を深化させる必要がある
  - ↓
  - ✓ 小児特定集中治療管理料の要件である、加算後転送症例数が増加し、今後、管理料条件が満たされる可能性がある

### 当院PICUが目標とする至適環境について



### まとめ

- ◎ Hybrid unitでのClosed ICU運営により旧来の術後事案対応果たしつつ、術後管理固有の特殊治療能力を救命救急事案に適應することで、全体の予後を改善することができた。
- ◎ 小児特定集中治療室の至適環境を生み出すための本質的要件は、小児重症患者における他の救命救急センター・集中治療室との連携深化がある。当院においては、他院との連携については改善余地があり、今後の課題と考える。

### 結果の要約

- ◎ 直送と転送症例の増加と傾向院内急変の減少傾向
- ◎ 術後管理症例におけるECLS管理経験は入室症例数の割合以上
- ◎ 転送症例におけるCHDF管理経験は、入室症例数の割合以上
- ◎ 循環器疾患におけるECLS・CHDF・iNO管理経験は入室症例数の割合以上である
- ◎ 非循環器疾患におけるHFOV管理経験は入室症例数の割合以上である
- ◎ 全ての入室経路別における実死亡率が予測死亡率より低下している



